

●コレクティブハウス大泉学園
1K 19.42㎡+コモンスペース 家賃 57,000円/月

所在地：練馬区大泉学園町8丁目
最寄駅：西武池袋線 大泉学園駅よりバス10分 バス停より徒歩5～8分
東武東上線 成増駅よりバス25分 バス停より徒歩5～8分
東武東上線 和光市駅より 自転車20分
居住人数：15名程度
共益費など：居住者組合で決めて運営、居住者で分担



静かな住宅の中にあり、角部屋で日当たりも良く、住みやすいお部屋です。



居住者のブログ・FB・インスタグラム

実際の暮らしの様子はコチラから
スガモフラット
<https://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
<https://www.instagram.com/sugamons212/>
コレクティブハウス聖蹟
<https://www.facebook.com/ch.seiseki/>
コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/
タウンコレクティブ南小岩
<https://www.facebook.com/tc.koiwa/>
https://www.instagram.com/minami_koiwa

その他の空室情報はこちら



目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

※事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp



Facebookページも公開中！

発行／NPOコレクティブハウジング社 (CHC) ホームページ <https://www.chc.or.jp/>
〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アビタメジロ302
TEL: 03-5906-5340 FAX: 03-5906-5341 E-mail: info@chc.or.jp

CH大泉学園へようこそ！

ハウスのお出迎いの玄関のアプローチです。元居住者のEさんやHさんが残して下さってきた物です。みなさんのご訪問を静かに待ってますね。



夜の屋上でのんびり

夜の屋上は、晴れの日には結構、綺麗な星空が見えます。星を眺めながらのんびりしていると、幸せな気持ちというか、何とも言えない心地いい気分になれます。あ、飲んで帰った日には酔いをさますのにもいいです。ちなみに昼間はこんな（←）感じです。



CH聖蹟「これからカフェ」のお知らせ

<子どもがいて、大人がいて、安心できる街になってほしい>
<何かやってみる場所がほしいね>
<世代を超えた人たちが集まれるところがあったらいいね>
<この地域で仕事を生み出せたらいいね>
そんな話し合いから生まれたプロジェクト。「コレクティブハウス」での人と人のつながりが、ハウスの中だけでなく、ハウスの周りの地域にも広がってほしいと、地域の方々とハウスの住人で一緒に開催する、「コレ」からカフェ。

今回は6月8日（土）「日本酒の会！」

聖蹟桜ヶ丘の名店「地酒の小山商店」の喜八社長が、日本酒のアレコレや酒蔵さんのことなどをお話をさせていただきます。お酒も喜八社長がセレクト！ 参加申込みはメールでどうぞ。
日時／6月8日（土）12:00～17:00
会場／コレクティブハウス聖蹟 1階駐車場
申し込み／colle-kara@googlegroupes.com

「投稿コーナー」投稿募集

「これこれ新聞」では、話題にしてほしい記事を読者の皆様より募集しています。投稿はこちら↓
ペンネームを添えて、collecollego@gmail.com まで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集！

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出して下さる、サポーターを募集しています。
collecollego@gmail.com までご連絡ください。

【編集後記】 待望の、本当に待望の、新しいコレクティブハウスを作るプロジェクトが始まりました！これこれ新聞が2014年に創刊してから、初めてのことで。涙プロジェクトの様子は、本紙編集部が追っていきますので、今後の紙面に、乞うご期待！！

これこれ新聞 vol.30
定価200円（税込）
定期購読2,000円（年間/送料別）



隔月刊
CHC

これこれ新聞

【リレー連載】コレクティブハウスとは：家族やジェンダー、人種などにとらわれず、お互いが自立したもの同士であることを認め合う人たちにより、創造的に生み出される様々な対話と参加の仕組みを持った、自由で可能性を持つ暮らしをめざす住まい

CHC
活動報告1

「町田プロジェクト」始動。
6年ぶりの新しいコレクティブハウス、2020年春誕生

新たなコレクティブハウスのプロジェクトが始動します！

場所は、東京都町田市。多摩地域の南端で、神奈川県の方にポコッと突き出た市です。

小田急線の町田駅およびJR横浜線の町田駅の周辺は、多くの商業ビルが立ち並び、商店街も充実している大きな繁華街で、沿線からも多くの人が集まります。

町田市および周辺には、大学や高校などが多くあり、町田は学生の集まる活気ある街でもあり、「西の渋谷」なんて呼ばれる方もしているようです。一方で、繁華街を少し離れば畑や田んぼ、里山のような場所などが点在し、緑を身近に感じられる土地柄でもあります。

今回の物件は、そんな町田の、繁華街から少し離れた場所にあります。小田急町田駅から徒歩と25分ほど。バスを使えば駅から約10分、最寄りのバス停からは徒歩3分ほどです。バスの便はとても良く、日中は約10分間隔で通っていますし、夜も遅くまで運行しています。



GWのワークショップの様子

暮らしづくりワークショップを7月より開催予定

このプロジェクトは、もともと企業の寮だったものをコミュニティのある賃貸住宅へと転換させるもので、コーポラティブ住宅やコモン付き賃貸などコミュニティのある住まいを数々手掛けている株式会社コプラスが事業主として、建物のオーナーである相互住宅株式会社から借り上げて事業化する案件です。

91戸の住戸とラウンジなどのある建物をリノベーションして、コモンルームを新たに作ったり、2住戸をつなげて大きな住戸を作ったりして、コレクティブハウスとコモンスペース付き賃貸住宅からなる、コミュニティのある賃貸住宅を実現します。

コレクティブハウスは、現段階では29戸の計画。コモンスペース付き賃貸住宅は38戸程度。コレクティブハウスとコモンスペース付き賃貸住宅が一体の建物に共存する、これまでにない新しい形態であり、どのようなつながり・コミュニティが生まれるか、とても楽しみです。

5月の連休には、CHC会員向けの建物見学&ミニワークショップを開催しました。建物や敷地にいるいろいろな形で活用できそうな場所がいくつもあるので、新しいコレクティブハウスの暮らしを想像しながら、さまざまな意見やアイデアが出ていました。

これから、CHCでは、セミナーなどを通して広報し、コレクティブハウス居住希望の人たちとワークショップを始めていきます。暮らしづくりのワークショップは7月スタートの予定。ともに暮らしを考え、つくっていく仲間を現在募集中です。

住みたい方向けのオリエンテーションと町田プロジェクトの説明会を、毎週開催しています。ご興味ありましたら、ぜひお問合せください。

事業概要

所在地 東京都町田市本町田
交通 小田急小田原線「町田駅」バス6分徒歩3分
同駅徒歩約25分
JR横浜線「町田駅」徒歩約30分
規模 敷地面積：3,887.07㎡ (1,175.83坪)
延床面積：3,378.06㎡ (1,021.86坪)
構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階 地上3階建
住戸数 現況：91戸(住戸面積25㎡)
オープン 2020年3月(予定)
事業主 株式会社コプラス
家主：相互住宅株式会社
建築設計 一級建築士事務所株式会社アルコデザインスタジオ
コレクティブハウス企画コーディネート：
特定非営利活動法人コレクティブハウジング社

※毎週開催の説明会にご参加ください。

【お問い合わせ】

メール kyoju-ch@chc.or.jp
特定非営利活動法人コレクティブハウジング社
居住希望担当：狩野、宮前、矢田

2018年度 国交省 重層的住宅セーフティネット構築支援事業 終了

「コレクティブハウスにおけるセーフティネット形成」ガイドラインを作成



CHCは、2018年6月27日に東京都から「居住支援法人」の指定を受けました。「重層的住宅セーフティネット構築支援事業」は、居住支援法人

としての活動を支援する国の補助事業です。CHCでは、2018年9月中旬～5ヶ月半ほど「多様なセーフティネットを形成する居住支援に関する事業」というテーマで、本事業を行いました。

入居前支援としては、地域で何らかのつながりを持ちながら暮らしたい方々の相談窓口を開設（毎週木曜日19時～21時、第2・第4土曜日10時～12時）しました。

また、入居後の居住支援としては、コレクティブハウスにおける見守りや生活相談の実施の他、「コレクティブハウスにおけるセーフティネット形成」をCH聖蹟（多摩市）の居住者有志及びCHC会員有志で行い、今回は主に高齢者や単身者のセーフティネット形成を中心にガイドラインとしてまとめました。

コレクティブハウスの暮らしは、居住者の自主運営において孤立しない安心感は絶大ですが、居住者一人一人に何らかの問題が起こった際には個別に生活相談・支援が継続的に必要となり、コーディネーターと居住者及び居住者組合の役割、更に外部専門家との連携について、今後も実践しながら整理してい

く必要があります。また、その際の見守りや生活支援に対しては、当事者から受益者負担として費用を支払ってもらうことは難しく、今後、各ハウスの居住者組合での費用負担など、様々な角度から検討していく必要があります。（狩野）

🐦 コーディネーターのつぶやき

コレクティブハウジングのコーディネーターの経験も18年ほどが経ち、居住者の皆さんたちの暮らしの物語を様々に見てきました。コレクティブハウスがオープンして1～3年ぐらいは、居住者の皆さんも自分たちの暮らしづくりに精一杯で、嵐のような時間が過ぎていきます。そして10年目を迎えるあたりでは、様々なことを経験しながら、地域とのつながりができたり、大きくなった子どもいたり、少々コミュニティの風通しが悪くなったり…いろいろなことが起こります。

しかし思うのは、日々、様々なことが起こる中、共に楽しみ、悩み…そして大いに語り合い話し合っ、あきらめずに理解し合おうとする関係性は本当に素晴らしいと思います。居住者の助け合いをベースに、さらに外のネットワークとつながることで、より安心でき、誰もが望めば住み続けられる仕組みを、居住者の皆さんと作っていききたいものです。（狩野）



CHCの活動 (2019年3月～5月)

- 3/1 (金)、3/12 (火)、3/29 (金) 理事ミーティング
- 3/12 (火) 第3回理事会 開催
- 3/15 (金) 豊島区居住支援協議会臨時総会出席
- 3/15 (金) 創造的参加の場コーディネーター養成講座説明会開催
- 3/16 (土) コレクティブハウス聖蹟 第10期総会
- 3/19 (火) 豊島区地域活動交流センター ミニセミナー
「ごちゃ混ぜで暮らす～多様な人がつながり暮らす安心の住まい」
コレクティブハウス大泉学園とみなとやについて
居住者・つくりこの家・CHCが講演
- 4/1 (月)、4/5 (金)、4/15 (月)、4/22 (月) 理事ミーティング
- 4/3 (水) 「コミュニティ賃貸 町田プロジェクト」始動 第1回全体会議
- 4/8 (月) 「東京にコレクティブハウスをつくる会」第2回企画会議
- 4/11 (木) 町田市役所訪問
- 4/14 (日) 第5期「創造的参加の場コーディネーター養成講座」第1回
- 4/15 (月)、4/21 (土) 上記補講
- 4/16 (火) 4/17 (水) 韓国の京畿道行政職員有志の
コウハウジング研究会より5名視察対応
(CH大泉学園、CH元総社 commons、群馬県庁訪問)

- 4/19 (金) 都有地活用による魅力的な移転先整備業（足立区関原地区）
事業実施方針説明会 参加
- 4/21 (土) スガモフラット 第12期総会
- 4/21 (土) 第5期「創造的参加の場コーディネーター養成講座」第2回
- 5/10 (木) 上記補講
- 4/28 (日) タウンコレクティブ南小岩 第2期総会
- 4/29 (月祝)、5/5 (日) CHC会員向け
町田PJ現地見学&ミニワークショップ
- 5/6 (月祝) CHCキャンプ
(理事メンバーで一日かけての次年度事業計画検討)
- 5/7 (火) 「京都版コレクティブハウス」京都府の新規担当者の方の
コレクティブハウス視察への対応
- 5/9 (木) ～毎週木曜日 町田プロジェクト定例設計打合せ
- 5/9 (木) ソウル大学「シニア最高経営者過程」40名視察対応 (CH聖蹟)
- 5/13 (月)、5/20 (月)、5/27 (月) 理事ミーティング
- 5/14 (火) 事業相談
- 5/17 (金) 町田プロジェクト関係者 CH聖蹟視察対応
- 5/18 (土)、19 (日) 第5期「創造的参加の場コーディネーター養成講座」第3回

居住者☆通信

スウェーデン訪問記

昨年9月下旬、会社の研修旅行を兼ねてスウェーデンに行ってきました。不動産の仕事をしているので、本場スウェーデンのコレクティブハウスを実際に見学訪問させていただきました。

見学させてもらったのは、ストックホルム市内にある「フェルドクネッペン」と「スードラスタション」の2つのハウスです。この2つのハウスを見学させてもらい、「CH聖蹟とは違うなあ」と思ったことを中心に今回、皆さんにお伝えしたいと思います。3つの違いを感じたうち、2つがミールのこと。1つは居住者の部屋についてです。

1つめは、コモンミールの実施方法です。2つのハウスでは、ミールはグループで1週間を担当する、buffet形式という仕組みでした。CH聖蹟では、メインの人が1人、サブとしてサポートに入ってもらうこともありますが、買い出しから片付けまで1人でマネジメントしていくことになります。ミールの注文も予約制にしているので、決まった人数分を調理していくという方法でコモンミールを実施しています。

スウェーデンのコレクティブハウスでは、居住者が入居時に必ずどこかの調理グループに所属し、そのグループで1週間のメニューを決め、買い物、調理、後片付けなどのマネジメントと実施をしているということでした。

私もミール当番を月に1回実施するのですが、一人で買い物に行き、調理をして…というのは、最初はかなりハードルが高く感じていて、入居当初はミール実施に尻込みしていました。でも、スウェーデン式のグループ形式だと、気分的には少し負担が軽くなるように感じました。この形式を試してみるものいいかもしれませんね！

2つめは、ミールのbuffet形式での実施。今回の訪問では、スードラスタションでミールをいただきながら、ハウスのいろいろなお話をお聞きしました。ミールを食べるため、コモンダイニングに入ると、まず受付が必要ということにちょっとびっくり。受付が済むと、お皿をもって列に並びます。本当にホテルのbuffetのように続々と列が続きます。いくつも並んでいる料理のひとつ一つに、きちんと料理名のPOPもつけてあり、ヴィーガン用の料理も並んでいました。料理をどんどん取っていくと、ここで大きな不安が急上昇です。何人今日のミールに来るかわからないし、私の後ろには何人も居住者の方が並んでいます。でも、お料理はどう見ても後ろに並んでいる人の分までなさそうです…。

CH聖蹟のミールでは、決まった人数分を用意するので、だいたい一人分は食器の残りを見ながらとりわけたりしますが、何人来るかわからないスウェーデンのミールでは、それができませんでした。

居住者の方に、料理が途中でなくなった時にはどうするのかお聞きしたところ、冷凍で以前のミールなどを置いているので、それを食べてもらうこともある、ということをお聞きしました。ミールを販売するのではなく、次のミールに充てるということでbuffet形式でも対応可能になるのか、と驚きでした。（次号につづく）



(居住者Y)

CHC 活動報告3

暮らす会 妄想まちあるき「見沼」編

4月7日(日)に、コレクティブハウスの居住者や居住希望者等の有志で作る「暮らす会」で、まち歩きを行いました。今回歩いた場所は、埼玉県さいたま市のやや西寄りにある「見沼」というところで、畑のある福祉農園をゴールとしました。

8kmの桜並木を散策。こんなに長く歩いたのは初めてです。道中、これからのコレクティブハウス作りは？ 障がい者と共にやっていくには？等と話をしているうち、広ーい農地に辿り着きびっくり！ 20年かけてやってきた畑と聞き、素晴らしい。すでにその畑で何人か作業中で、子供たちも私たちを出迎えてくれました。

薪が燃えているコンロがあり、農園の木の下でランチタイム。周りいっぱい伸びすぎたふきのとうを摘み、花の部分と茶っ葉を除き、さっとひと茹でしてふきのとうの佃煮完成！ 畑にいた人たちにもお裾分け！ こころのほぎ、ふっ飛んだ感じでした。（居住者S）

※ ※

実際には物件がない見沼でのまち歩きということで、暮らす会で行った、見沼コレクティブハウス（仮称）妄想街歩きは、見沼

の歴史、自然を堪能しながらの充実した時間でした。

見沼コレクティブハウス（仮称）では、再生可能エネルギーに取り組みたい、畑の野菜で作った料理を主役にして交流したい、ハウスや畑を活かしたライフスタイルを築けたらいいねといった感想を共有しました。また、ぜひ新たなハウスを作るにあたっては、これまで作ってきたハウスの振り返りをきちんと行い、良い点・悪い点の両方を活かせるように、という話になりました。



桜も10分咲きの満開で、全長12kmの見沼たんぼをくねくね歩き、その三分の一を花見をしつつ堪能しました。（元居住者M）

